



東京全労協

2020年 7月 28日 123
東京都港区新橋4-21-7
つるや加藤ビル4階B
TEL. 03 - 5403 - 1650
FAX. 03 - 5403 - 1653
発行人 大森 進
定 価 1部 10 円



7月16日、南部労政会館でJBC事件の集会が開催された

7・16 ハラスメントをなくして、 育児をしながら働き続けられる 最高裁の判断を！

「ジャパンビジネスラボ事件（JBC事件）」から何を学び、何を指すか？
7月16日、南部労政会館でJBC事件の集会が開催された。当初は3月に予定されていたが、コロナ禍により二度延期し、ようやく実現された7・16集会は、当該・主催者らの熱気ある内容の濃い集会となった。

第一部のトークセッションは原告弁護団の坪由美子弁護士司会・コーディネーターにより進行し、ゲストスピーカーは浅倉むつ子さん（早稲田大学名誉教授）と水野英樹さん（日本労働弁護団幹事長）、竹信三恵子さん（ジャーナリスト・和光大学名誉教授）の三名がJBC事件の社会的意義と東京高裁不当判決の問題点について語った。JBC事件は「労働者にとって育児休業の権利が真に実効的なものか、企業の方針で育児取得者の雇用を奪うこと

を司法は容認するのか」が鋭く問われる、重要な事件であることが鮮明となった。

第二部は、主催者の「妊娠育児によるハラスメントをなくす会」新田裕子さんの司会で進行し、はじめに一番原告の当該から現状と最高裁をたたかう決意が元気に話された。その後、闘いの現場から5名の仲間たちがJBC事件に連帯する報告を行った。

労働相談の現場から内村昌司さん（連合ユニオン東京）と東京高裁に向けた裁判所前アクションの報告を柚木康子さん（均等待遇アクション）、青い鳥産休差別裁判の原告の報告を平田淳子さん（よこはまシティユニオン）が代読し、三菱UFJモルガン・スタンレー証券パタハラ解雇裁判の原告クレン・ウッドさん（全国一般東京南部）が報告し、

さいごに報道の自由の問題として若崎貞明さん（日本マスコミ文化情報労組会議事務局長）が問題提起を行った。集会の締めくくりは、労働組合から井上久美枝さん（連合総合政策推進局総合局、ジェンダー平等・多様性推進担当）、中原純子さん（全労協女性委員会担当幹事）、長尾ゆりさん（全労連女性部長）の三名が壇上に揃って応援メッセージを発言した。

7月6日、自衛隊がアメリカから17機も購入したオスプレイが岩国基地から木更津駐屯地に暫定配備されるといふ連絡を受けて、木更津現地の配備反対集会を行った。駐屯地近くの内港北公園に着くと、悪天候の中であるが、岩国基地から飛び立つ準備をしている」とのことだった。オスプレイ来るな！ いらぬ市民の会の野中氏は「東京全労協からいただいた横断幕が大

変役立っています」とのことと、集会場にも貼られていた。暫時集会を行っていたが、結局この日は岩国から飛び立つことができなかった。オスプレイは7月10日午後、最初の1機が千葉県の本木更津駐屯地に到着し暫定的な配備が始まった。防衛省は、佐賀空港への配備を計画しているが、地元が反対しているのが、木更津駐屯地に暫定的に配備したとし

またハラを許さず最高裁に弁論を開かせて高裁不当判決を破棄させよう。

7月31日の最高裁要請行動が提起され、コロナ禍のなかで74名が参加した、静かななかにも熱気が感じられる集会となった。

オスプレイ木更津配備反対 どこにもオスプレイはいらない

5人は、関東にある演習場間が予定されている。とりわけ、群馬県相馬原演習場への飛行ルートでは、東京湾沿いを飛行して江戸川から荒川沿いに北上するルートや、東京湾から横浜を経由して北上するルートがあり、首都圏の上空を飛行することが想定されている。

このほか、アメリカ軍では、東京の横田基地に配備しているオスプレイを、2024年ごろまでに、現在の5機から10機に増やす計画もあり、今後、首都圏の上空をオスプレイが飛び交うことになる。「オスプレイは、どこにもいらない」の声をあげ続けよう。（南部全労協事務局長 藤村妙子）



5年で配備が終了するという目標は立っていない。陸上自衛隊によると今後1か月程度かけて機体を詳しく点検したあと基礎的な訓練飛行を段階的に広げることだが、駐屯地の間近には保育園や民家が沢山ある。しかも飛行訓練コ

東京全労協学習交流会 2020羽田空港の過去・現在・未来
変わりゆく羽田の空と街を見て考えよう

「羽田増便に伴う首都圏での低空飛行の問題」と今年7月に一部完成した「羽田未来都市」の見学です。

旅客機の低空飛行は、既に始まっており本当に地上から見ると飛行機がビルにぶつかるのではと思う低空を飛んでいます。これらの問題の陰には米軍横田空域があると言われています。私たちの首都圏の空はどうなっていくのでしょうか？

羽田空港の沖合展開の結果できた跡地(5.9ha)には、大田区が格安の賃料(1m²1か月600円)で鹿島建設などと設立された「羽田未来開発(株)」が作る「HANEDA INNOVATION CITY(HiCity)」が一部完成しています。この「未来都市」がコロナ後の日本の未来であるとも言われています。しかし、果たして私たちが必要としている未来がここにあるのでしょうか？

日時 2020年8月29日(土) 14時30分集合、参加無料
集合 京急羽田線・東京モノレール「天空橋駅」HiCity改札口
案内 松島光男さん(おたのジャーナル編集委員)
申込・締め切り 東京全労協常任幹事まで 締切 8月20日

大久保製薬は金儲け優先をやめろ！ 労働者の命を守れ！

重大労災から一年 ストライキ行動に 一五〇名が結集

昨年7月7日、大久保製

薬工場内テナント倉庫において、重大な労災事故が発生しました。東京東部労組大久保製薬支部の戸谷組合員と職場の労働者2名が崩れた製品の下の敷きになり、文字通り「殺されかける」というこの重大労災事故の責任は、組合が多段階の危険性について度重なる警鐘をなら

し、改善を求めていたにもかかわらずそれを放置していた会社にあることは明らかです。

組合は事故直後より労災の責任追及、「金儲け優先」の責任をあらため、労働者の命を守れ、と会社に求めています。しかしこの間、会社は根本的な問題解決を図ろうとせず、被災者である戸谷組合員への損害賠償も事実上拒否し、「この問題はもう終わったこと」との



7月7日、ストライキに決起し、大久保製薬社前集会を開催

姿勢に終始しています。

東部労組大久保製薬支部は重大労災発生から1年となる7月7日、ストライキに決起し社前集会を行いました。

全国一般・全労働者組合東伸社ユニオンとの共同行動の一環として行われたこの集会には、東部労組各支部・地域・友好労組の仲間

昼休み構内集会を貫徹！ 組合員の団結で実現！

全労・東伸社ユニオン

本来であれば4月17日に20春闘行動の一環として行われるはずの東伸社ユニオン昼休み決起集会だったが、新型コロナウイルス感染症防止のため延期となり7月7日に無事に決行することができた。しかし、構内で集会を行うにあたっては分室内でも様々な意見があり、紆余曲折を経て集会開催に至った。

今回の経過に関しては9年前の東日本大震災時の状況にも似ている。今回の新型コロナウイルスは世界中で猛威を振るっており、東京でも緊急事態宣言が発令され経済活動にも重大な影響を及ぼした。特に中小・零細企業への影響は深刻なもので東伸社においても4月15日に同じ建物内のテナントから3名の感染者が出たことにより社内は混乱した。東伸社も近い将来、経営者

150名が駆けつけてくれました。司会進行を務めた大久保製薬支部の金澤委員長が冒頭、人と人の距離を取ったりマスクを着用したりするなどの感染防止対策を参加者に要請し、集会は始まりました。

地域の友好労組の仲間からの連帯の発言では、会社の労働者の安全軽視に対する怒りが表明され、真剣な訴えて会社を糾弾しました。集会最後に大久保製薬支部組合員ひとりひとりが闘う決意を表明、「大久保製薬は金儲け優先をやめろ！」のシュプレヒコールが周辺に響き渡りました。

激励してくれた。

未だに感染者が増す一方で労働組合の真価と役割が問われている今こそ、職場で地域で抗議の声をあげ団結を深めることの重要性を実感できた。全国一般全労東伸社ユニオン書記長 町田哲也



7月7日、東伸社構内に組合員が結集して決起集会

東京全労協 学習交流会 2020

羽田空港の過去・現在・未来



品川駅付近のビルの上を低空飛行する旅客機

変わりゆく羽田の空と街
を見て考えて
みませんか



「羽田未来都市」のイメージ

羽田に未来都市！?

羽田空港が沖合に広がったことでできた跡地には、大田区が165億円で購入した5.9haの土地を1㎡600円で産業建設、大和ハウス工業など9社が作る「羽田未来開発(株)」に貸し出し、医療施設やロボティクスを活用した新産業拠点ができます。これは、スマートシティモデル事業です。この未来都市と私たちの関係を考えてみよう。

首都圏の空はどうなって行くの

羽田空港では、飛行機の増便を理由として南風時には首都圏の上空を旅客機が低空飛行を行っています(コロナで便数は減っているに...) また、木更津に配備され自衛隊のオスプレイ17機、横田に配備予定の米軍のオスプレイ10機。過密する東京の空には、アメリカ軍の横田空域が... こうした問題に取り組み地元の方のお話を聞きます。

8月29日(土)午後2時30分
京急・東京モノレール「天空橋」駅HI City改札口集合
申し込み先 東京全労協
当日連絡先 藤村 090-9392-2143

臨時国会直ちに開け！

7月19日、第56回の19日行動「臨時国会にたち開け！敵基地攻撃は憲法違反！安倍改憲発議をとめよう！安倍内閣退陣を！7・19国会議員会館前行動」が取り組まれた。平日夜ではなく、日曜日の午後の行動となったが900名の人たちが参加をした。フィジカル・ディ

は、「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会の方が、沖縄県に「変更承認申請の不承認」について玉城デニー知事を激励するための「意見書」提出運動の呼びかけを行った。参加者には要請ビラが配布された。提出期間は8月11日17日まで。

の感染症対策を行いつながらの行動となった。国会議員からは、発言順に福島みずほ参院議員、田村智子参院議員、白眞勲参院議員があいさつをした。運動現場からのアピールで

コロナ禍で人々に「自粛」を強いた安倍政権は、自らはなんの自粛もせずに「戦争できる国づくり」と憲法破壊を進めている。きちんとしたコロナ対策をとらせ、るために安倍政権に対して声をあげていこう。